

平成19年度2月補正予算案の概要

平成20年2月
宮 城 県

予算編成の考え方

今回の補正予算は、当初予算編成時点で地方財政計画も参考にしながら計上した法人関係税の収入額が、企業業績の伸び悩みにより当初予算額を大きく下回ることなどから、県税の大幅な減額措置を講じる一方で、減収補てん債等の県債発行や基金繰入金の追加計上などにより、辛うじて収支均衡を確保

歳出予算については、国の補正予算への対応による公共事業等の追加措置を行うほか、原油価格高騰対策など早急な対応が必要となる経費について予算化

また、公的資金の補償金免除繰上償還の所要額を計上した一方、既決予算については、事業費確定の見込みや節減等に伴う減額措置を基本に編成

予算規模

(単位：百万円，%)

	11月現計予算	2月補正予算	2月補正後予算	2月補正後予算対前年度増減率
一般会計	803,803	8,731	795,072	2.1
特別会計	201,901	3,616	205,517	3.3
準公営企業会計	25,188	492	25,680	10.6
公営企業会計	57,810	659	57,151	1.2
計	1,088,702	5,282	1,083,420	0.8

【一般会計補正予算の状況】

歳入

- ・ 県税は、当初見込みを大きく下回ったことから170億円の減額
- ・ 国庫支出金は、国の補正予算対応があるものの、事業費の確定等により31億円の減額
- ・ 財産収入は、土地売却収入の増加により17億円の増額、繰入金は全体では減額になるものの、財政調整基金繰入金は18億円の増額
- ・ 県債は、減収補てん債90億円を含む110億円の増額

歳出

- ・ 国の補正予算への対応分は、公共事業や災害対策等で43億円の増額となるものの、これを除いた通常分の補正は、下半期における予算執行の追加節減対策等も含めて130億円の減額
- ・ 事業費の確定見込み等に伴い、通常分の投資的経費が110億円の減額となったほか、特別会計への繰出金は7億円の減額